



# たたら

第 6 号  
 島根学習センター内  
 島根同窓会  
 発行者 竹下靖彦  
 2016年1月発行



(写真提供・松江市総務課広報室)

平成 27 年 5 月 15 日、文化財審議会が文科相へ松江城天守“国宝”指定答申で万歳の関係者

松江城天守は昭和10年(1935)、当時制定されていた国宝保存法により国宝に指定された。ところが25年(1950)の文化財保護法(昭和24年金閣寺火災で法整備)施行に伴い、文化財の見直しを行った折松江城は完成年代を特定できる資料がないため、国宝に次ぐ格付けの重要文化財に変更された。

松江市は変更を不服として、天守を国宝とするよう度々国に陳情した。そして近年の松江開府400年事業を機に地元での機運が盛り上がる中、完成時の祈祷札2枚が松江神社で発見され、文化財審議会が文部科学大臣に答申し5か所目の国宝指定となった。

**新年明けまして  
 おめでとうございます  
 本年もみなさんにとりまして良き年となりますよう祈念します**

**島根同窓会役員一同**

## 三桁の会員達成とセンター 開設20周年事業成功へ

会長 竹下靖彦



島根同窓会会員の皆さま、  
新年あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、  
この紙面をお借りして御礼を

申し上げます。

皆さんは新しい年にあたり、どのような展望を描きながら迎えられましたでしょうか。

卒業後は一区切りされて、新たな挑戦に向かって歩まれておられるのでしょうか。また、卒業後も引き続き放送大学に在学されて、単位認定試験の合格を目指し、最後の追込みに入りラストスパートをかけられていますでしょうか。

島根同窓会も早いもので、本年は設立4年目を迎えることとなります。思えば設立後は取り組む課題が数多くあって、あれも、これもと追い回されて慌しく歳月が過ぎ去りました。

ところがお陰様にて、設立3年で多くの方のご支援で、会員も三桁に到達する見通しがつき、あと一踏ん張りで実現する運びとなりました。改めて御礼申し上げます。これも一重に卒業生の方々、島根学習センター足立前所長、佐々所長、三島事務長他職員の皆さん方の応援のおかげで心より感謝しております。

本年は、総会にてお約束致しました“ホームページ”を4月より立ち上げ、会員の皆さん、在学生の皆さん、大学以外の多くの方々に島根同窓会の存在をアピールできることとなります。

さらに、本年は島根同窓会として島根学習センター開設20周年事業成功のため、同窓会も総力を挙げて協力したいと思っています。従いまして会員だけでなく、卒業生の方々も大学で学ばれた母校の記念行事にご参加頂き、懐かしい当時の学生生活を回顧して下さい。さらに記

念事業に取り組む準備委員としてご参加頂けたら幸いです。是非事業開催にご協力下さい。今日あるのは皆さんが先陣を切られたお蔭で、私たちが大学で学ぶことができているからです。

大学で学んだ知識を社会で実践している姿や、ご自身の教養を高めた知識を社会に披歴して、放送大学の存在が地域にあって、身近に高等教育を提供できていることを発信して下さい。

本年はもう一つの目標でした卒業研究及び修士論文要約集を島根学習センターと共催にて発行する運びとなりました。これも20周年を飾る出来事の一つです。

### 「大学自治」とは何か？

昨年は私にとって安保法制強行は許しがたき暴挙でした。また放送大学に限ると残念な出来事がありました。それは、放送大学が放送法第4条「政治的公平」を盾に、佐藤康宏先生の「日本美術史」試験問題文の冒頭文の一部を「意見が分かれている問題を、一方的に取り上げており不適切」と政権批判で単位認定試験の問題文を学内サイト掲載に際し、問題文の一部を削除したことであります。

何故なら、同法第1条は政府からの独立を意味する「不偏不党」と、憲法第21条の「表現の自由」を前提にしているのに、公権力に対し過剰な反応をし「学問の自由」を侵害していると思えるからであります。

さらに平成28年度第1学期の入学から「新システム」を2学期途中で一方的に発表したことであります。少なくとも在学生が検討するため、1年間の猶予をもって変更すべきであり、何故新システムなのか、その根拠が抽象的であります。加えて名誉学生をめざしすでに単位を先取りしている学生の既得権に対応も定かではない。さらに外国語単位を削減するのはグローバル社会に対応することに逆行する措置ではないでしょうか。

皆さんは如何にお考えでしょうか？

## 島根学習センター所長

「ともに学ぶ楽しさ」を  
「学ぶ意欲」に

佐々 有生



新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えて、ふと昨年の本学習センターの活動を

振り返ってみると、やはり講義室を離れての体験的な学び・活動が印象に残っています。それは、学習センター教職員の立場としての企画・準備・実施等の運営全般にわたって幅広い思い入れ等が含まれるからかもしれません。

本年度は、益田市で面接授業を行いました。島根の文化・歴史などの再発見とその活性化につながる内容等を検討すると、「石見」が浮き彫りになったからです。益田市は、万葉歌人・柿本人麿や画聖・雪舟ゆかりの寺社、また中世の史跡など、自然や文化・歴史の魅力が溢れる地です。

ご承知のとおり、島根県は、東西に横長いうえ、県庁所在地の松江市は東部に位置します。島根学習センターも松江市に開設しています。したがって、ともすると県東部にまなざしが向きがちになりますが、島根自体が歴史深い地であり、県西部の益田市も、自然や歴史・文化の魅力に溢れています。

本年度の公開授業は、こうした島根の西部地区のより広い理解を願って、約1年前から本企画を立ち上げ、益田市教育委員会社会教育課、文化財課及び観光交流課など、関係各課の皆様のご理解・ご支援等をいただいて準備し実施に至りました。心配だった受講者数もほぼ定員に達し、二日目の実地見学では、中世遺跡や寺社等に加えて萬福寺での雪舟庭園を鑑賞しながら

の「中世食」もいただき、石見の学びをとおして様々な時代に思いを馳せていただけたと思います。

## 研修旅行は平山郁夫美術館へ

また、研修旅行も楽しい行事でした。昨年3月に尾道松江線「中国やまなみ街道」が全線開通し、松江市～尾道市間137kmが約2時間30分と、80分も短縮されたことから、紅葉を楽しむながらの秋<安芸>巡りをしました。まずは、食欲の秋<安芸>、瀬戸田町で瀬戸内海名産「タコ飯」を堪能。食後に、芸術の秋<安芸>で、「平山郁夫美術館」鑑賞と三次市にある「辻村寿三郎人形館」鑑賞と、思い出深い1日になりました。もしかすると、実りの秋<安芸>として、瀬戸田の「ミカン」が一番に満足していただいた秋<安芸>になったかもしれませんが…。

放送大学は、テレビ・ラジオ・インターネットをとおして「いつでも、どこでも、誰でも学べる」遠隔教育型の大学ですが、各学習センターでは、こうした講義形式だけでなく体験的な面接授業や研修旅行等を行っており、学友とともに学ぶ楽しさが共有できます。「学びの孤独」を「学びの意欲」に変えるのが各学習センターだと考えます。これからの社会が「無縁社会」にならないために、私たちは単身化しないよう意識的に「コミュニティー」をつくることが求められます。「放送大学にきたことにより、一つのコミュニティーができています！よかった！」との学生の皆さんの感想も聞かれます。今後、そのような役割を果たす視点も重要になってくると思います。

微力ながら、少しでも多くの学生の皆さんが、本学習センターに集い「ともに学ぶ楽しさ」を味わっていただけるような環境整備や運営等の工夫・改善ができればと考えています。

本年度もどうかよろしく願いいたします。

## 【特集】

## 松江城天守の国宝指定

元松江郷土館館長  
安部 登



## 1、松江城の偉容

松江城は、亀田山(標高28、4m)に築かれた平山城で、慶長5年(1600)に出雲・隠岐24万石の領主となった堀尾氏が築城した。慶長16年(1611)

に完成した天守は、南側正面に附櫓を設けた複合式で、高さ30m、四重五階、地下一階の望楼型である。

壁は黒の下見板張りで覆われ、無骨な外観に桃山時代初期の壮重雄大な手法を見ることができる。外壁の板張りの各所に攻撃用の狭間や石落しが設けられている。また、地階には籠城のための米や塩を貯蔵し、中央に深さ24mの井戸があるなど、実戦を重視した構造になっている。

全国に現存する12天守のうち、松江城天守は、平面規模で2番目、高さで3番目、古さで5番目の偉容を誇っている。姫路城と共に、安土城の系譜を継承する唯一の正統天守である。

## 2、松江城の危機

明治という新しい時代を迎えると、城は無用の長物となり、城の維持管理に苦慮した松江藩庁は、明治4年(1871)4月14日に松江城の廃城を決議した。このような動きが全国に広がるのに呼応して、政府は明治6年(1873)に廃城令を布告した。

これを受けて陸軍省広島鎮台は、明治8年(1875)、松江城天守を180円(当時米1俵が3円弱)、櫓を4円50銭で払い下げ、全てを取り壊すことにした。この時、天守は出雲郡(現出雲市)出東村の豪農勝部本右衛門と、意宇郡(現松江市)雑賀町の旧藩士高城権八の尽力で保存さ

れることになった。先人の功績を忘れてはならない。

昭和9年(1934)5月1日、城地一帯は国の史跡に指定され、翌昭和10年5月13日には、旧国宝保存法により松江城天守は国宝に指定された。しかし、昭和25年(1950)5月30日に制定された文化財保護法により、松江城天守は重要文化財に改称された。

## 3、市民による国宝化運動

昭和26年(1951)から昭和34年(1959)にかけて、松江市及び松江市議会は国へ国宝指定の陳情を行ったが成果を得ることが出来なかった。

平成19年(2007)から始まった松江開府400年祭を契機に、松江城を国宝にする機運が高まった。平成21年(2009)9月には「松江城を国宝にする市民の会」を設立し、翌年1月から署名活動を展開した。市内外からの賛同によって128,044人の署名を得ることができた。また、松江城について考える市民の集いを開催して関心を高めることに努めた。

また、行政の立場からは、松江城の新しい知見を得るため、平成22年(2010)2月に「松江城国宝化推進室」を、5月には「松江城調査研究委員会」を設立し、専門家による学術調査を推進した。こうして、平成24年5月21日、松江城天守の完成時期を示す「祈祷札」2枚が再発見された。

## 4、松江城天守の国宝指定

平成27年(2015)7月8日に官報告示され、国宝が決定した。国宝指定の概要は次の通りである。

(1) 名称 松江城天守 1棟

附<sup>つけたり</sup> 祈祷札 2枚 慶長十六年正月吉祥日  
鎮宅祈祷札 4枚  
鎮物 3点(祈祷札1、槍1、玉石1)

(2) 指定要因

① 松江城天守について

中国地方に唯一残る荘重雄大な四重五階の天

守である。最近になって再発見された2枚の  
祈祷札から、慶長16年(1611)の完成が明らか  
になった。

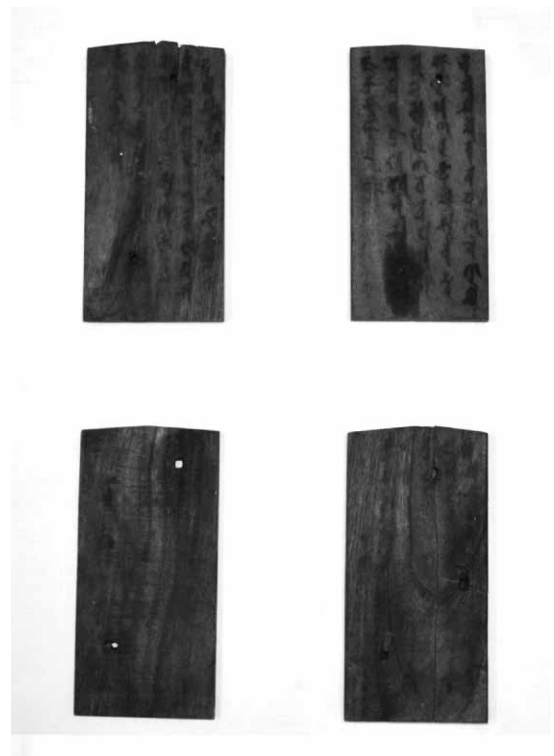
通し柱による構法などの独自の建築的特徴  
を有し、近世城郭最盛期を代表する建築とし  
て極めて高い価値がある。

② 附の資料について

松江城の築城に際して三態、三様の祈祷が  
行われたことが確認され、築城に係る一端を  
明らかにするものとして貴重である。

真言密教の鎮宅の修法に極めて厳密に則っ  
ており、松江藩及び松江城の真言宗との関連  
性を具体的に指し示す資料である。

天守の構造的な特色と合わせ、天守の経営  
経過や来歴の解明にも繋がる新たな研究資料  
として貴重である。



(鎮宅祈祷札 四枚)

- ※右上・下「不動鎮宅真言」
- ※左上「加護所住処真言」
- ※左下「八字文殊真言」

5、これから

松江城に更なる価値を付加する努力と、城下  
町の街づくりに取り組んでゆかねばならない。

(写真提供：松江歴史館)

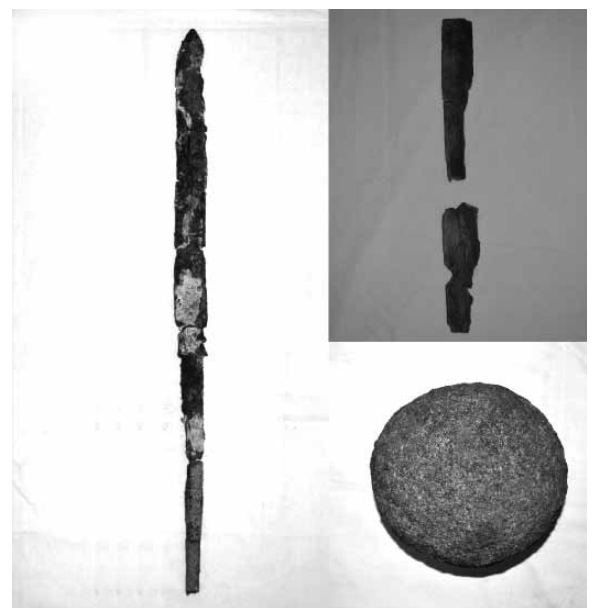
(梵)  
慶長拾六年 辛亥 大山寺 敬  
奉轉讀大般若經六百部武運長久処  
正月吉祥日 白

(梵)  
慶長十六曆 欽  
奉讀誦如意珠經長榮処  
正月吉祥日 言



(祈祷札二枚)

- ※左「奉轉讀大般若經六百部武運長久処」祈祷札
- ※右「奉讀誦如意珠經長榮処」祈祷札



- ※左「槍」
- ※右上「祈祷札」
- ※右下「玉石」

## 平成27年度第1学期 学位記授与式が行われました

平成27年度第1学期学位記授与式が、9月27日(日)午前11時から島根学習センター3階第1講義室で開催された。第1学期は教養学部16名の方が卒業され13名の卒業生が出席された。

最初に佐々学習センター長より卒業生お一人おひとりに学位記が手渡され会場の出席者からの大きな拍手とともにその卒業を讃えました。

### 人は学びながら生きていく存在

次に佐々学習センター長から式辞があり、特筆すべきは島根学習センターの第1回卒業生である平塚純一さんがセンターとして初めて名誉学生の称号が付与されることが報告された。島根学習センターは来年度開設20周年を迎えますが長い歩みの中でその喜ばしい成果が実を結んだといえましょう。

また、平成26年4月の島根同窓会第2回通常総会時に「松江藩の教育—藩校・私塾・寺小屋—」のご講演を依頼した安部登先生から著書「松江の碑—碑が語る松江の歴史—」(松江市ふるさと文庫17)が学習センターに寄贈を受けた事に触れられ、先生が執筆された「雑賀小学校創立の碑」について紹介された。

この碑は新町の洞光寺の入口に建立されているが、学舎はその庫裡(くり、寺の台所)が充てられたようです。学校教育の黎明期には既存のお寺を活用したことが分かります。学習センターのそばの西光寺の法語の掲示に「お寺は 発見の場です 習うところです 何を 自分自身を」とありますが、お寺→学校・学舎、習う→学ぶに換言すると両者は「発見」で結びつくものがあると述べ、「人は学びながら生きていく存在です」と卒業生の皆さんが、新たな自分探しの道を豊かに歩まれることを願われました。

### 学んだことを今後の人生に活かして欲しい

続いて足立前学習センター長と竹下同窓会会長



学位記授与者を囲んで記念写真

から祝辞がありました。足立先生は詩集らしくない詩集といわれた茨木のり子さん著「詩集 倚(よ)りかからず」の中から「時代おくれ」など二つ詩を朗読されて卒業生に学んだことを今後の人生に活かしてほしいと述べられました。

### 放送大学と縁が切れないよう会員に

竹下会長は、島根同窓会は全国では49番目に発足し、まだ小さいけれどもその活動は最先端を目指しています。再入学する人以外は放送大学とは縁が切れることとなりますが、卒業生として横の繋がりを保つためにも同窓会への入会を勧められました。

その後、在学生代表として人間と文化コース山口麻生子さんが送辞を、卒業生を代表して生活と福祉コース清見順子さんが答辞を述べられた後、客員教授から卒業生に大きな拍手とともに花束が手渡され、厳粛な中にも温かい雰囲気につつまれて学位記授与式が終わりました。(記:小汀政徳)



卒業生を代表して答辞を読む清見順子さん



## 「平成27年度第一学期卒業を祝う会」

学位授与式が終わり、感激さめやらぬまま場所を四階第二講義室に移して、同窓会主催、学習センター共催による卒業生を囲んでの会食会「平成27年度第一学期卒業を祝う会」が開催された。

会場には先ほど一人一人が受けられた花束や、また和服姿の女性も見え、和やかで華やかな雰囲気にも包まれた。竹下会長は挨拶で「明年は島根学習センター創立20周年となります。またこれまでに400名もの卒業生を送り出して来ました。本日卒業された皆様も放送大学との縁が切れないためにも、是非同窓会の方にお入りいただき、共に放送大学を卒業したという喜びを分かち合いましょう」と同窓会への加入をシッカリと呼びかけた。

さらに明年秋には、岡部学長をお呼びして(予定)のイベントも計画しているとの話もあった。思えば私ももう半年前のことになったが、「放送大学卒業」という想いが叶い、こうして皆さんから暖かく祝福され、その場で直ぐに「放送大学島根同窓会」への入会を決意したこと。

また「放送大学で学んでよかった」「放送大学島根同窓会に入会してよかった」ということは私達同窓生が思っていることは同じで、早速新たに4名の嬉しい入会をいただいた。

### 大学生活は自分探しの勉強

つづいて、卒業生の方からの苦労話とか体験談を聴く時間となり、全員が今日に至るまでのことを語られた。淡々と話されるなかにも皆さん一人一人のそれぞれの想いが感じられる話であり、ここに何人かの声を掲載させていただきます。

「自分探しで始めた放送大学の勉強でした。小学生だった子供たちも何時しか大学生となり、今では放送大学は生活の一部に溶け込んでいます」という女性の方のお話。「胃がんを手術しま



卒業生を囲んで祝う会風景

したが漸く70歳にして卒業が叶いました」という大病を乗り越えて頑張られた70代の男性の方など。また「孫たちの励ましを受けて今日を迎えられました」という話やら、本当にいろいろな人の力に支えられての「放送大学卒業」であったことが伝わってきた

そして私は今春NHKホールで聴いた岡部学長の言葉「放送大学に入るには入学試験がないが、これを卒業することは難しいことである」というのを思いだしていた。

和やかな会は終了時間を超過して続いた。

(記：知野見孝信)

### 卒業生の声

## 放送大学を卒業するにあたって

心理と教育コース 和田 美和



家庭の事情で仕事を辞め、家庭に入った私は、自分の好きな時間にじっくり勉強ができる放送大学に入学することに決めました。そして以前から河合隼雄さんの本が好きで心理学にも興味があったのも、その理由の1つです。入学してわかったのですが、心理学といっても、とても幅広い分野があり、どの教科も奥が深く、何度も繰り返しテキストやテレビを見て頭を抱えることが数多くありました。しかし、今まで知らなかったことを知ったり、理解できたりした喜びは、今まで見えていた社会をもう1段高い所から見下ろして視野が広まったような爽やかな気持ちでした。

## 面接授業では家族が温かく迎えられた

そして面接授業では、家庭から抜け出して一人旅に出るような開放的な気持ちにもなりました。

しかし、心理学には実験という教科があり、パソコンの前に座るだけで萎縮してしまうような私はレポートを仕上げるまでの気の遠くなるような作業に泣きたい気持ちをこらえるのに必死でした。そして、こんなに一生懸命に何かに打ち込むことはなかなか無い経験でした。そんな面接授業から宿題を持って疲れ果てて家路に着くと、留守番をしてくれた家族が温かく迎えてくれ、改めてほっとしたりもしました。入学当初はじっくり余裕をもって勉強に取り組む計画でしたが、始めてみると学生の頃やっていた詰め込みの勉強と大して差がない始末で、それが私の後悔することです。

## 心理学だけでなく興味深いコースも魅力

放送大学では心理学の他にもコースがあり、興味深い教科が多くあります。私のこれからの人生に放送大学を取り入れて、今度こそは余裕を持って、楽しみながら勉強をするのもいいなと思っています。そして、放送大学で知り合った方たちはほとんど私より年上の方ですが、みなさん生き生きとして輝いておられました。私もそのような人になりたいと思います。放送大学で学んだ私は、以前よりも少しは成長できたと思います。そんな私がこれからは社会や周りの人や身近な家族に少しでも役に立つことができたり、ささやかでも優しい言葉や振る舞いができたらいいと思っています。卒業するまでに多くの方に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

### みなさんからの投稿を待っています

広報部では会報“たたら”の充実を図るため会員の皆さんより投稿をお待ちしています。

投稿について、字数 800 字程度。ただし実名と顔写真をお願いします

書式は ML、FAX、郵送、センター窓口へ

## 島根同窓会の入会に際して

生活と福祉コース 清見 順子



この度、平成27年度1学期卒業を機に、島根同窓会に入会させていただきました。放送大学では「生活と福祉コース」で学びました。

履修する科目の難解さに戸惑うこともありましたが、繰り返して学ぶことで、なんとかついていけたことや、通信指導・単位認定試験では、毎回ドキドキしたことなどが思い出されます。

学習での苦勞もありましたが、学んだ知識が生活を豊かにしてくれました。私には83歳になる病気の母がいます。仕事をやりくりしての病院通いなど、先のことを思うと不安なことばかりでしたが、「在宅看護論」を学習することで、相談機関があること等を学び、少し不安がなくなりました。また、地域活動やボランティア活動の大切さを知りました。

## 学んだこと知識を地域社会で還元

少子高齢化の時代に、私ができることを地域で実践していきたいと思います。子育て世代の役に立ちたいと思い、私たち孫育て世代が“会”を作り支援しています。

現在、私は障がい者就労支援作業所で給食づくりの仕事をしていますが、「障がいのある生活を支援する」などの福祉関係の科目履修で、障がい者への理解が深まりました。利用者の一人ひとりとのつながりを大切にして、安全・安心はもとより、愛情を込めて給食をつくりたいと、日々努力しています。9月には、調理師の資格試験に挑戦しました。学習してきたことで試験を受ける勇気も持てたと思います。

## 私の学びを夫の支えが頑張る支え

この度、卒業することができたことは、本当



に大きな喜びです。夫も私の学びを支えてくれました。試験や面接授業の際に、運転の苦手な私を気遣って松江まで同行してくれたり、家庭でも、学習が進むように配慮をしてくださいました。本当に感謝しています。

この度卒業をしましたが、あらためて「心理と教育コース」で学び続けます。

## 「新年にかける私の決意」

副会長 石川 直樹



明けましておめでとうございます。皆様、良い新年をお迎えのことと思います。早いもので、放送大学を卒業してから、早や3年が過ぎました。また、同窓会を振り返れば、

会長をはじめ皆様のご協力でなんとかここまでできたような気がします。それでも少しずつですが、着実に実績を上げてきていると思います。そして今年は4年目を迎えます。真に学生の皆さんの力になるとともに、課題を一つでも多く解決できればと考えています。小さいながらも、活力ある同窓会になったらと思っています。特に、今年は同窓会のホームページの立ち上げについて、担当メンバーの方と連携しながら確実に実現していきたいと思っています。さて、いよいよ本題ですが、上述したように卒業後3年が立ちました。昨年の「私の決意」では、学生に戻ることを約束しこれは実行できました。ただ、そこから次の一步がまだ踏み出せていません。個人的に仕事や引越などで多忙な1年となりましたが、自分自身の中に甘えがあったことも事実であると思っています。その反省に立ち、今年はどうなにか多忙であっても、学生として基本的な学習をしながら、従来からの研究課題であ

る文化人類学の勉強もしていきたいと思っています。最後に、昨年、人生訓の書という意味の「菜根譚」という本に出会いました。

「人よく菜根を咬みえば、すなわち百事なすべし」（堅い菜根をかみしめるように、苦しい境遇に耐えることができれば人は多くのことを成し遂げることができる）という言葉に由来する本です。

まさに今の自分の境遇と、決意を新たにしました。

## 「新年にかける私の決意」

副会長 増原 久子



皆さま明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととございましょう。私は80代の坂道を登ろうと、自分なりに張り切っては

おりますが、その1歩1歩が緩やかな歩みになりました。あと4単位で二つ目の卒業を迎えますので、何とかしてNHKホールの学位授与式に出席したいと願っています。

先日、90歳を過ぎられた女性の方の次のような一文に出会いました。

『夢 持とう 沈む夕日も 燃えている』  
放送大学には、朝日のように勢いよく登り続けている若い方々、明るい日中を歩んでいる元気な壮年の方々、そして私のように夕日の時代を迎えた者もいます。それでも皆さんに負けまいとして年相応に頑張っています。今、授業の他には、だんだんサロン（おしゃべり会と作文の時間）とだんだんゼミナール（英語で短編小説を読む）を続けています。

ではもう一度、『夢 持とう 沈む夕日も 燃えている』

今年もよろしく願いいたします。

全科履修生(人間と文化)

## 新年にかける私の決意

## 「不思議」なるもの

理事 小汀 政徳



最近、田中修著「植物はすごい 七不思議篇」(中公新書、2015)を手にした。内容は次の7種の植物、サクラ、アサガオ、ゴーヤ、トマト、トウモロコシ、イチゴ、

チューリップの「すごさ」とそれぞれの七つの「ふしぎ」を伝えている。

例えばサクラの場合はどうか？サクラはこの間の「エンブレム問題」ように常に日本人の心を揺さぶるものがある。なぜ春に全国的に時間的にズレはあるものの一斉に咲くのか？それは開花の前年の7、8月頃に蕾ができる。その蕾は葉がアブシシン酸という物質を作って芽に送り「越冬芽」という硬い芽の中に包んでしまい秋には咲かない仕組みができる。春にはこの越冬芽が目覚めて冬の寒さを感じるが必要になるが寒さを感じることでアブシシン酸が分解され消失し、蕾が目覚めて暖かい気温の中でようやく開花するということだ。

## 授業科目「植物の科学」では

アサガオ場合はどうか？アサガオは朝早く一斉に咲く。実に「ふしぎ」であるが、これは次のように説明される。アサガオの蕾は開花する前日の夕方に暗くなり始めると、時を刻む。そして約10時間後に開花する。10時間経てば暗くても花は咲くのだという。10時間という暗闇の時間が鍵であるが、それは蕾自身が感じるものだ。植物がもっている時を刻むしくみは「体内時計」と呼ばれるもので解説されるが、提示された答えの奥の方に植物学の真の面白さがあるように思える。放送大学の授業科目「植物の科学(2009)」では3章から8章に亘って発生・成長について全般的には学習するが、個々の植物

について更に踏みこんで調べるとこのように興味が広がる。新年にあたりこのようなことをもっと肝に銘じて置きたいと思います。

## 終戦とその直後のできごと

理事 安部保江



明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

昨年は戦後70年で、その頃を振り返ってのマスメディアからの報道が盛んでした。70年間平和の続

いたこの幸せが今年も来年もどうか続きますようにと、国民全体が願っていることと思います。

今年は、島根学習センター20周年になりますが、私も学生になって20年になります。この20年楽しいことばかりでした。特に土谷先生ご指導の俳句サークル、前センター長の足立先生ご指導のおしゃべり会、作文の時間を毎月楽しみにしています。

俳句サークルでは、

**“晩学のやる気スイッチ入れて汗”**

昨年の作文の時間には「80歳の誕生日を迎え振り返って」のタイトルで、終戦直後のことを作文に書きました。

## 終戦とその直後②

昭和20年8月15日、太平洋戦争が終わった。私は国民学校の5年生であった。

翌21年のある日、年一回の学校行事である学芸会のために居残っていた。その日、校内がなんとなく騒然として、庭を見ると見慣れない車2台が流れるように入ってきて、校舎中央の玄関前に止まった。この車こそ、私たち田舎者が初めて目にする占領軍GHQのジープである。アメリカの兵隊を見るのも初めてだから、みんな興味津々。やがて、校内にいる者は全員講堂に集められた。そこで、それぞれの生徒の頭の天辺から足先まで、あの白い粉、DDTを散布されることとなった。

このことは後に言うDDTの洗礼、敗戦国日本にとってのターニングポイント的出来事である。不衛生この上ない敗戦国日本に、駐屯するアメリカ兵の家族達を一番に守りたかったのだ。要するに、占領下の日本中に蔓延していた虱や伝染病を食い止めるために、半強制的に施されたものだったとか。だから日本人にとっては屈辱的なことであったのかもしれない。しかし、1回の散布で、虱も蚤も見事にいなくなった。

その後昭和44年、牛乳のPCB汚染が問題化し、そのDDTは大変な毒性があったと言うことで、使用が禁止された。(以下省略)

以上、拙い俳句と作文を紹介させていただきました。皆さんも俳句サークル、おしゃべり会、作文お時間を一度覗いてみてください。お待ちしております。

(平成28年正月)

## 「すべてをたいせつに」

理事 金田 文子



みなさま あけましておめでとうございます。

島根学習センターは開設20周年、喜ばしい記念の年であります。開設当初からの在学、

長期在学から、放送大学は「素晴らしい学び舎」、「辞めれない」、「辞めるなんて考えれない」等の声を多く聞いてきました。新教材、新システム、ゼミ、公開講座、各種サロン等も活発になり、特に同窓会、学友会による「学生のための取り組み」には惜しみない努力を感じます。

島根学習センターは、過去短期間の間に「放送大学学長表彰」を2回受賞、全国初と聞き、充実した学生生活ができる喜びを感じます。

私も入学して10年、意義ある生活を感じてきました。しかし「学びの成果を社会に還元」と聞いてはいますが、今もってその動きは静止状態です。昨年は耳を塞ぎたくなるニュースが大

変多く、世界の辛さを身近に感じ、今も続く出来事に胸が痛みます。

日野原重明先生(聖路加国際病院理事長)

「いのちの哲学詩」より抜粋

形のない水

差し出された容器に水はぴったり身を添わせ  
細長くも 丸くも 角にも 己が実を合わせて  
制止する

水の流れは時の流れか 或は季節の流れか  
はたまた見る人の心の流れなのか

私たちの心を

愛する人の心に 慈しむ人の心に

水のように 音もなく合わせられれば

それを至福と私は呼びたい

そしておわりに

地上の生きとし生けるもののいのちの秘跡  
を厳かに想う。と記されています。  
また下記は 少年院の子供達の短歌です。

便りきて 涙の影を隠しつつ そっとひと  
こと感謝のことば

面会の 母の涙で胸痛み せめて自分は笑顔  
で耐える

面会で 言葉少なき今日の父 目元で語る  
その悲しさを

「すべてを大切に」「どの人もみんな素晴らしい」は幼児教育年間大目標でした。壮大過ぎて私には生涯かけても消化できない内容ですが、とても魅力的な大好きなことばです。

過去は変えれず、反省の多い自分ですが、その上に立って、今年もできる限り多くのことを学びたいと願っています。そんな私ですがよろしく願いいたします。



## 新年にかける私の決意 「老いらくの恋」

監事 知野見孝信



ことの始まりは極めて単純な動機からである。「嗚呼ロマンチックな唄とメロデーこれって何という音楽な

んだらう？」シャンソン音楽「I a m e r」を聴いてからフランス語に対する想いは、永井荷風の『フランス物語』などを読むにつれて憧憬のようにもなった。「嗚呼巴里よ、自分は如何なる感に打たれたであらう・・・又は名も知れぬ細い路地の様に至るまで・・・自分は何故一生涯、巴里に居られないであらう」永井荷風はこんなにも切なく甘く、フランスへの想いを綴っている。そして私は「英検」と同じようにフランス語検定「仏検」があることも知った。

さて「新年にかける私の決意」であるが、これは好意を寄せている彼女（フランス語の定冠詞 I a は女性名詞に付く）に私の胸の想いを打ち明けることと決意したこと、すなわち「仏検5級に挑戦合格すること」だ。しかし建てつけの悪くなったあちこちでこれを攻略することは容易ではない。仏検5級の検定基準として「初歩的な日常的フランス語を理解、読み、書くことができる」とあり、大学で週一回の授業なら1年間の学習に相当とある。そして「ネエ私の話すことも聴いてよ」そんなヤンチャな彼女の話聴いてやる厄介なリスニング試験もある。（マア私も一応大学生には変わりはないのだけどネ・・・彼女結構プライドが高いナ！）

ありがたくもまた一つ歳をいただいた。それにしても思うことは「日暮れて道遠し」でありませすナア・・・。

## 今年私が“心掛けたいこと”

監事 佐藤ひばり



昨年までは目標として掲げていたことは、放送大学を卒業して学位記を取得ことでした。

しかし、目標を達成した今年からは、目標を作るなど

大げさに考えず、もう少し楽な気持ちで学習できることを考えようと思いました。

それは、目の前に「ぶら下げる！」ことです。えっ！何を？ 何のこと？・・・

例えば、放送大学の面接授業、市民大学の講座、JA女子大学の講座、フィットネスジム通い、ポタニカルアートの絵画教室、イタリアン料理教室等々、これが私の「ぶら下げる」ものです。

いわゆる出掛けて行く場所を作り、そこで学習したり、学友、講座、教室友達とおしゃべりをしたり、コミュニケーションをとることで、脳トレ、ロトレ、体力づくりをすることです。肩肘を張らずに楽しく、気持ちよく、またストレスを溜めないようにコントロールできる日々を過ごすよう努めたいと思っています。

そのためには、規則正しい生活を送り、食生活に留意して、感謝、感激、感動の気持ちを持って、健康で心身のバランスの取れた日々を送ることが、今年私が心掛けたいことです。

### ご寄付の願い

同窓会では独自活動と学習センターへの事業支援、学生に対する援助活動を行っています。しかし、会員増加に取り組んでいますが資金が不足しています。是非ともご協力をお願いします。

郵貯銀行 記号15370、番号8940271、名義人放送大学島根同窓会、店名：538  
山陰合同銀行 本店営業部 店番001、番号3716171、名義人放送大学島根同窓会

## 作文の時間報告②

「ゆかしきこと・千家さんの  
屋根瓦」

知野見孝信



はじめに

足立悦男先生主宰による「作文の時間」の作品発表の場ができたことを喜んでいきます。

私は先生より卒業研究のご指導を受けていたことがキッカケでこの「作文の時間」にご縁をいただくようになりました。前号に安部保江さんより先生を囲んで誰もが和気藹々、和やかな雰囲気のある会となっていることを書かれましたので、私はこの会が毎回どんな発表の場であるかを書いてみます。

毎回各自A4用紙1~2枚に書いてきた作文を（パソコン書きが多いですが、原稿用紙での手書きの方も居られます）1人ずつ声を出して自分の作文を読んで発表します。そして皆さんからの評を受け、最後に足立先生からのまとめとしての評をいただきます。こうして毎回5~6名ほどの集いですが、今では誰もが着実に「作文力」が向上していますし、また作者の名前を見なくても誰の作文かが大体わかるようになりました。（すなわち文は人也）。これから卒業研究を目指される方、新聞や雑誌に投稿予定の方でも、さらに超大作の自信作、あるいはメモ程度のものでまずは遊びのつもりで出かけてみてください。そして私達と一緒に文章に馴れ、文章を書くことを愉しみとしませんか。

最後に皆様への誘いとしての諺を二つ。

「ペンが剣より強し」そして「文章は経国の大業不朽の盛事」。

一寸前置きが長くなりました。それでは平成26年4月12日の作文の時間に発表した私の作

文を以下に載せさせていただきます。なお今回タイトルを「ゆかしきこと・千家さんの屋根瓦」としてありますが、当日作文の時間（befor）では「ゆかしきこと・出雲屋敷」としていたのを先生よりご指導いただき訂正（after）したのを載せています。

「ゆかしきこと・千家さんの屋根瓦」

昭和52年に建てた我が家は、出雲大社からお札をいただいて「出雲屋敷」というやり方での地鎮祭を行った。そして毎年5月の大祭礼（5月14~15日頃）になると、大社さんから「出雲屋敷地鎮祭」の案内状が届く。

因みに平成の大遷宮が始まった年の地鎮祭には、ご本殿の特別昇殿が許され、神秘に渦巻くあの八重雲が描かれた素晴らしい「雲太」の天井絵を拝観させていただくことができた。

平成25年、60年振りの遷宮となった昨年も「出雲大社地鎮祭」の案内状をいただき、家内と二人してでかけた。

檜皮葺の真新しい大屋根が新緑のなかにクッキリと映え、これまた真新しくなった千木鯉木がドッシリとその上に坐っている。その遷宮を終えた大社（おおやしろ）が見え、なんとも清々しく且つありがたい気分になった。そして恒例の「出雲屋敷地鎮祭」が全国から数多集う参拝者のなか挙行され、千家宮司の祝詞が厳かに神苑に響きわたった。

## なぜ千家さん宅の屋根瓦は色とりどり

床几に座り、爽やかな新緑の風に吹かれながらの式典は大凡一時間ほどで終わり、本殿、神楽殿への参拝も終え、駐車場から出ようとヒョイと千家さんのお屋敷を覗いたらなんと、あの千家さんのお屋敷の屋根瓦がツギハギの状態であることに気が付いた。

まさか千家さんが、屋根替えをされる費用に事欠かれるなどとは到底考えられぬことではあるが、ご自宅の屋根瓦などの些細なことなどものともされず、ひたすら、ただひたすらに神に

すらに想いをかけてこられたであろうというそんなお姿が感じられ、「なんと奥床しいことであることよ」と深い感銘をうけた。

凡俗な我々は少し小金が溜まると、否、金が無かったら借りてでもして、ヤレ家具を新調しましょうとか、ヤレどこそこをリフォームしましょう等と考えるものでありますが、皆さんも

出雲大社へお参りされたら一度、確認してみられたらよろしいかと思います。

私自身、今年はいよいよ「放送大学卒業」の最終単位取得年度となり、畏れながら千家さんのような心境で「放送大学卒業」という目標に向かって、わき目もふらずに精進しようと、心新たに誓ったことである。(平成27年4月12日)

## ～同窓会よりお知らせとお願いです～

### 第3刷目の会員名簿お届けします

遅くなりましたが、第3刷目の会員名簿を同封しました。記載内容は「入会申込書」における個人情報について「開示同意項目」のみの記載となっています。同意されない項目は未公表ですのでご了承下さい。なお、もし記載内容に誤りがございましたら、お手数ですが竹下までご連絡下さい。

①あくまでも個人情報ですので、会員名簿の取り扱いには十分ご配慮下さい。

②住所などについてご連絡先が変更となった場合は、竹下までご連絡して下さい。

③FAX番号が未記載の方は、お手数ですが竹下までお知らせ下さい。

ただし開示に不同意される場合は、その旨ご指示下さい。同窓会より連絡を要する場合がありますので、お手数ですが竹下までお知らせ下さい。郵送料節減のためFAXでの活用には是非ともご協力をお願いします。

### ◆同窓会の活動日誌◆

(2015年7月～12月)

7月10日(金) 会報第5号校正終了  
7月11日(土) 2学期卒業式準備協議  
7月17日(金) 会報第5号会員宛発送  
8月29日(土) 第3期第3回役員会  
9月03日(日) 卒業式開催案内会員宛発送

9月13日(金) 2学期卒業式行事案内発送  
9月19日(土) 第7回広報部会開催  
11月21日(土) 学友会と望年会開催  
12月05日(土) 第8回広報部会開催  
12月05日(土) 卒論研究発表会打合せ  
12月18日(金) 会報第6号校正終了  
12月19日(土) 第2回名簿作成部会開催  
12月29日(火) 会報第6号会員宛発送  
12月29日(火) 会員名簿第3版会員宛発送

## 平成27年度卒業研究発表会・公開講演会案内

日 時 平成28年2月7日(日) 13:30～17:00

会 場 松江市 島根学習センター 3階 「第一講義室」

○公開講演会 13:30～15:00 (主催:島根学習センター・共催:島根同窓会)

演 題 松江城天守国宝指定の秘話 ～国宝指定の決め手は～

講 師 稲田 信さん(松江市まちづくり文化財課・史料編纂室長)

○卒業研究発表会 15:30～17:00 (主催:島根学習センター・共催:島根同窓会)

発表者 学士2人、博士論文1人を予定

(電話/0852-28-5500 FAX/0852-28-1800)



## 島根学習センターから

## 行事のご案内です!!

各行事に参加するには、事前に申し込みが必要です。※公開講座・セミナー等については学生以外の方、途中からの参加の方もOKです。お問い合わせの上ご参加ください。

問合せ：島根学習センター ☎0852-28-5500

## 公開講演会

『グローバル社会と高齢社会～国際交流を楽しむ～』 講師：若良二 鳥取学習センター所長

平成28年2月14日(日) 13:30～16:00 第1講義室(スティックビル3階)

※講演の後、島根大学留学生との交流会も予定しています。

## 公開講演会・卒業研究発表会 (島根同窓会との共催行事です！)

平成28年2月7日(日) 島根学習センター第1講義室

- ・13:30～15:00 テーマ 『松江城天守国宝化への秘話』～国宝指定の決め手は～  
講師 稲田 信さん 松江市まちづくり文化財課史料編纂室長
- ・15:30～17:00 卒業研究発表会

## だんだんサロン

おしゃべり会 13:30～15:00

作文の時間 15:30～17:00

講師：足立悦男 客員教授

平成28年1月9日(土)

2月13日(土)

3月19日(土) ※第1講義室

第2講義室(スティックビル4階)

## だんだんゼミナール

文脈(コンテキスト)から読む英語小説

講師：長岡真吾 客員教授

平成28年1月10日(土) 15:00～17:00

2月20日(土) //

3月19日(土) //

第2講義室(スティックビル4階)

## だんだんゼミナール

微生物の極限的な環境下での生命活動について 講師：大島朗伸 客員准教授

平成28年2月24日(水) 10:30～12:00

※1月はお休みします。

3月31日(木) 16:00～17:30

第2講義室(スティックビル4階)

地球温暖化は止められるか？～温暖化対策に関する新たな国際枠組み 講師：久保恭男 客員教授

平成28年2月27日(土) 14:00～15:30 第2講義室(スティックビル4階)

人類の活動が引き起こす地球温暖化の影響が、次第にはっきりと分かるようになってきました。

温暖化やその防止策は私達の生活にどのような影響を与えるのでしょうか？情報を提供しますので、皆さんでおしゃべりしたいと思います。

消費生活セミナー(2) ～「知って得する食生活の知識」～ 講師：多々納道子 客員教授

平成28年3月5日(土) 13:30～15:00 第2講義室(スティックビル4階)

今日、我々の食生活は、加工食品の利用によって非常に簡便化してきました。その反面、命や健康に直接関わる食の生産や流通が他人の手に委ねられることになり、安全性を確保するために食品表示が重要になっています。この食品表示法や食生活の変化に伴って必要になってきた新たな知識について理解するセミナーです。

## 当面の行事案内

### 平成27年度第2学期学位記授与式開催のご案内

日時 平成28年4月3日(日) 11:00～12:00 (主催:学習センター)

会場 松江市 島根学習センター 3階 「第一講義室」

※後輩たちの卒業を祝福するため、多数のご参加をお待ちしています。

### 平成27年度第2学期卒業を祝う会開催のご案内

日時 平成28年4月3日(日) 12:00～13:30 (主催:島根同窓会)

会場 松江市 島根学習センター 4階 「第二講義室」

会費 1,200円(事前にご予約下さい) 電話0852-28-5500

### 島根同窓会第4回通常総会開催のご案内(予定)

日時 平成28年4月16日(土) 13:30～16:30

会場 松江市 島根学習センター 3階 「第一講義室」

○公開講演会 13:30～15:00 (主催:島根同窓会)

演題 仮称『医療保険制度の改定について』(4月からの改定)

講師 未定(交渉中)

○第4回定時総会 15:00～16:30 (主催:島根同窓会)

①平成27年度事業報告の件

②平成27年度一般会計報告・同監査報告の件

③平成28年度事業計画(案)の件

④平成28年度予算(案)の件

### ◆編集後記◆

松江城天守の国宝が決まり、今年から具体的にこのことに関わる何かが始まるのではないかと考えています。「何か」とは何かですが、自分はその何かよくわかっていないもので、ただなんとなく「何か」が始まるのではないかと考えています。実際は、イベントや旅行の企画やPRということが、具体的になってくるとは思いますが国宝というキーワードがどうつながるかが今ひとつ想像できない自分です。

みなさんも、国宝って何か理解されているのでしょうか。本誌の編集部でも話題に上がりましたが、最終的に自分が理解できたのは国宝というネームバリューの大きさという事でした。また、自分でも調べてみますが、わかるような、わからないような感じです。重要文化財の1割にも満たない数で登録されているのが国宝ということくらいはわかりましたが、そこまでです。

個人的に思ったのは、変なたとえになりますが、AKB48の総選挙で上位に食い込み、全国的に有名になる感じでしょうか。また、国宝を持たない県が僅かにあることを考えると、総理大臣が我が故郷から出たという感じでしょうか。相変わらずレベルの低い表現で申し訳ありません。このテーマについては、今後もう少し勉強して歴史や文化財について理解を深める必要があります。

ちなみに人間国宝になると、特別助成金が年間200万円貰えるそうです。なんだか不思議な感じもします。天然記念物と呼ばれる人はもらえないお金です。当たり前ですが。

冗談はさておき、我が郷土の宝ができたわけですから、大切にしてその歴史についても改めて勉強し旅行者の方にも簡単な説明ができるようにしたいと思います。